



ただ猫は
泡涙を知る

——永遠の少女は語る。

うたかた
泡沫と消え続けた少女の物語を。



ただ猫は
泡沫を廻る



おや
お客様ですか



ふう...

パタン



あーと

…そうですね

そろそろ
いい時間かも
しれません



こんにちはは阿求
調子はどう？



ねえ阿求



…はい



淋しくはない？



御阿礼の子として

…御阿礼の子だから？



「阿求」としては？



わたし阿求だから…
私は百万回生きねば
なりません

私に白猫は
必要ないのです



阿礼

私は御阿礼の子

廻り続けます

阿未

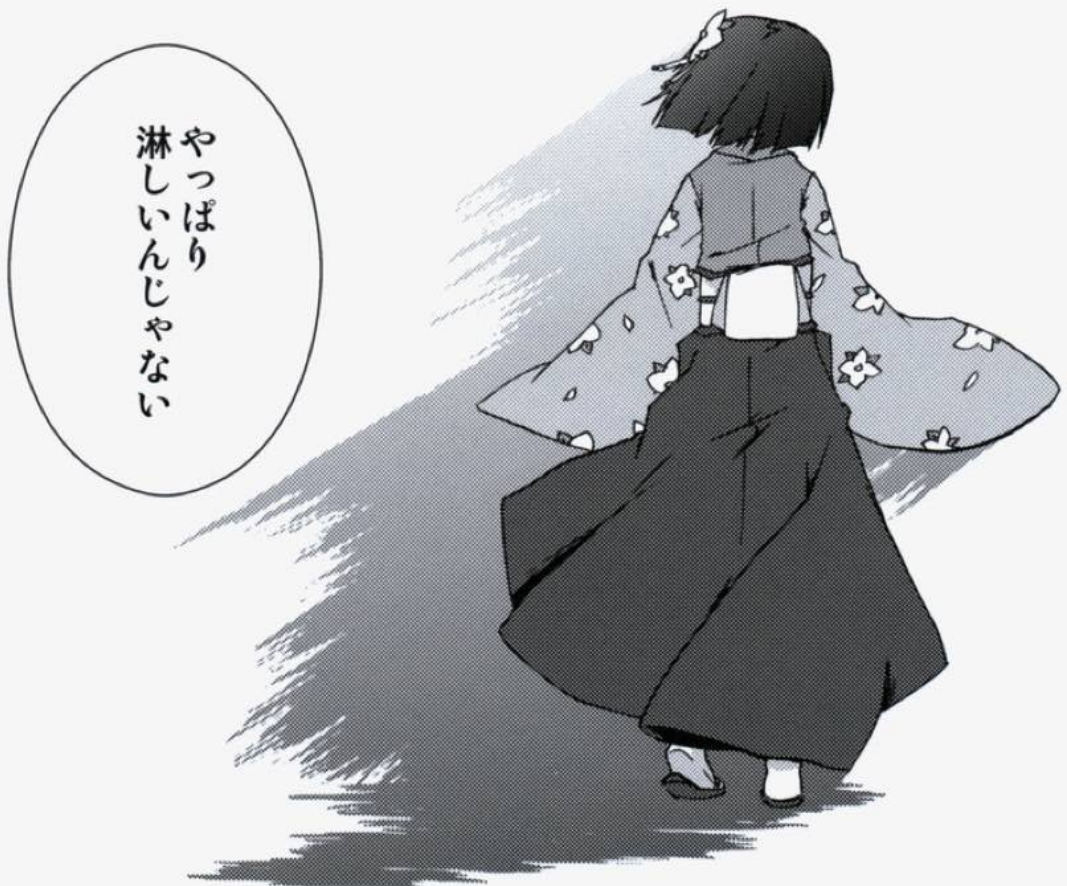
阿余

阿夢

幻想郷縁起こそ
私の全て 私自身

阿七

阿弥











気になるのね
あの子のこと

…まあね

クスッ

…

ん…



あの子は
御阿礼の子として

代々仕事を受け継いできた

代々博麗を
背負ってきた私と
境遇はほとんど
同じなのよ



でも一つだけ
決定的に違う

彼女はもう…



あの子のところへ
行ってあげて



だから



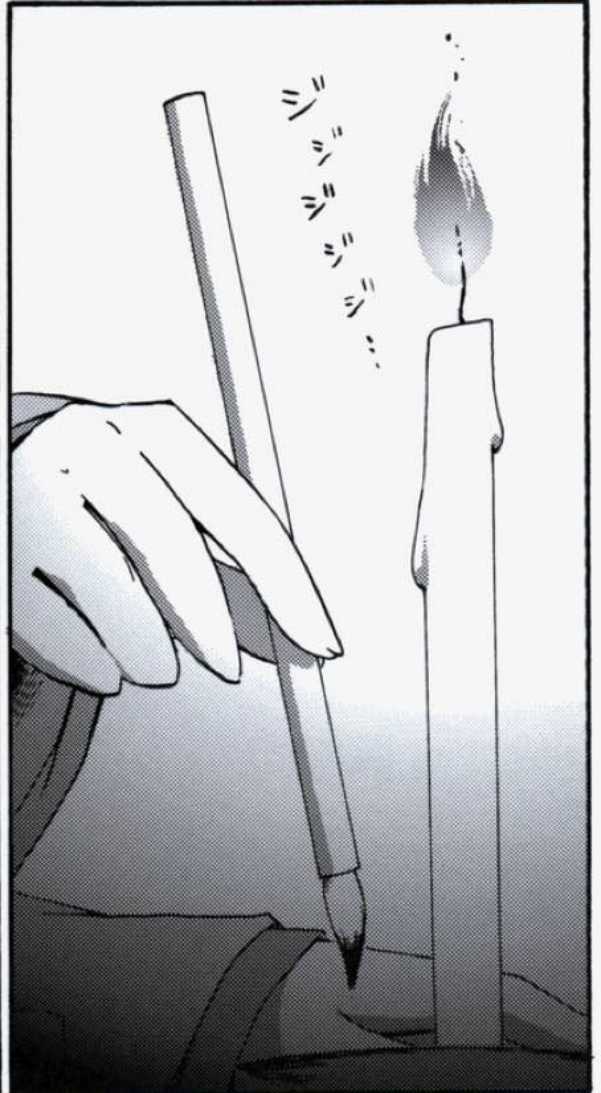
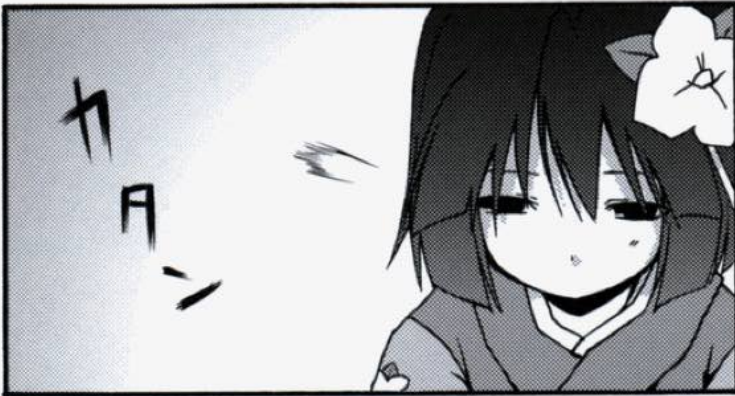
素直じゃ
ないわね





アンタはとつくに
白猫だつての



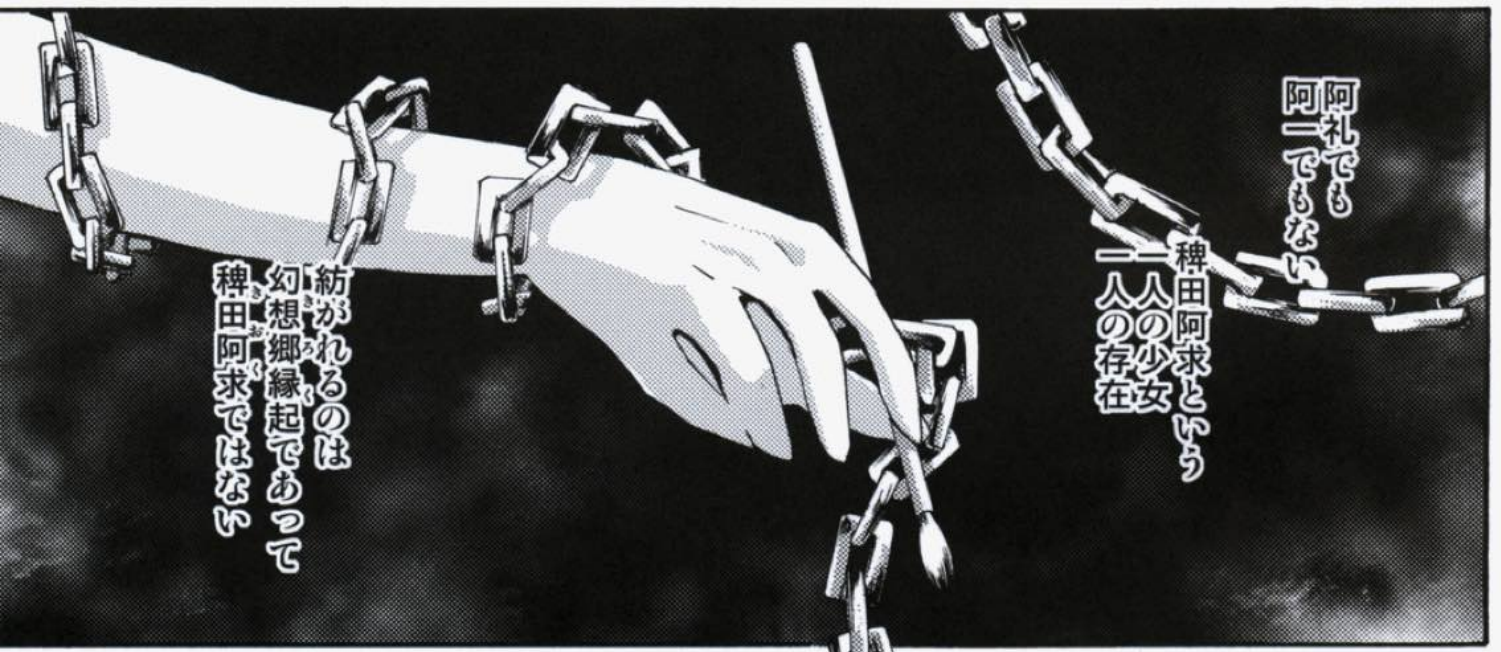






貴方は
稗田阿求なのよ

…はい？



阿礼でも
阿二でもない

稗田阿求という
一人の少女
一人の存在

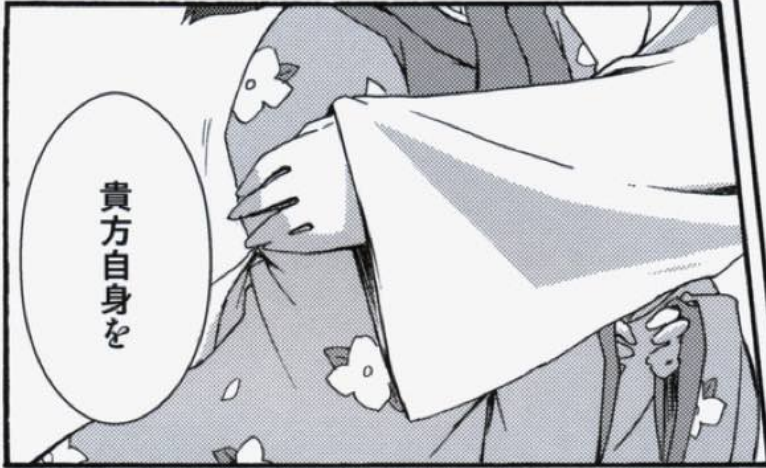
紡がれるのは
幻想郷縁起であって
稗田阿求ではない



うたかた
泡沫の命の連鎖

からその
仮初の永遠

貴方は私が永遠に
知ることは叶わない
その鎖のほんの一部





でも



…ありがとうございます
ございます



そう…

そのかわり




お願い…
してもいいですか？




私に白猫さんが
出来てしまったら
転生できなく
なってしまうのでしょうか？

だからやっぱり
私は遠慮しておきます




ずっと…
見守っていてください

ずっと「私たち」の
友達でいて下さい



もし幻想郷が
このまま安定して

幻想郷縁起が
必要なくなる時が
きたらその時は…



想い出を—
残しましょう

わたし
八雲紫と
あなた
稗田阿求の



わかったわ

じゃあ私からも
お願い



約束を忘れぬように



私が
約束を違えぬように



植えましようつ

ポン

この庭に
梅の木を

それでは



そんな女々しい
約束でも
ありませんから

大丈夫ですよ
化けて出ることは
ありませんし



それは破られる
約束の代表例よ

からかって
いるのかしら？



ふふ

わかったわ

約束…

貴方と私が
ともにいた印

想い出を刻み、二人は進んでゆく。
泡沫を廻り続ける——。



「日が出るでしょう、それから日が沈むでしょう。

それからまた出るでしょう、そしてまた沈むでしょう。

——赤い日が東から西へ、東から西へと落ちて行くうちに、

——あなた、待っていられますか」

自分は黙って首肯した。

女は静かな調子を一段と張り上げて、

「百年待っていて下さい」と思い切った声で云った。

いま
現在ではないいつか
此処ではない何処か

これは泡沫の猫と

永遠の猫の出会いの物語

カタニ

…だれ？



貴方は確か
幻想郷縁起に…

ええ

「はじめまして」

こんにちは

うつつわざるはただ、その瞬きを^{いだ}抱いて



まさかこんなにも早く
妖怪さんが出向いて
くれるとは…

ふふふ

これは
「約束」なのよ

約束…?

たび重なる刻の中、消えゆく夢幻を見つめる^{とき}
^{ゆめまぼろし}



私は紫 八雲紫



私とお友達に
なりましょうか？

永い永い間
泡沫を廻る猫たちを
見届けてきた



それはいつか交わした
梅香る 久遠の約束——。

AFTERWORD

どうも、ゆえです。ファンタジー以外はお久しぶりです。

今回はいろいろと本を読みながらいいとこ取って、みたいなことをやってみたかったのでなんだかとも紛らわしい感じになってしまいました。しかもいろいろと解説しないといけない気がするし。ラノベは地の文でまだ説明できるけど、漫画でこういうのは難しいですね。学習。

さて、とりあえずベースは有名な絵本、佐野洋子さんの「100万回生きたねこ」です。ご存知の方も多いかと。ここでいう100万回生きたねこは阿求、その輪廻を解き放つ白猫が紫。ただ、紫も永遠（比喩的な意味で）な存在なので、永遠の白猫というなんとも紛らわしい事態に。まあ、白猫が永遠でもいいんじゃない？（何

続いて作中に登場する約束。これは小泉八雲の怪談話から、「破られた約束」です。再婚は絶対しないと誓う夫。妻が、死ぬ前に夫に「ならば梅の木を植え、そこに私を鈴と一緒に埋めてください」とお願いをします。まあ、その後見事に夫は再婚し、鈴の音と共に妻は呪いにやってくるわけですが（怪談だし）。なぜこれを選んだか。簡単です、小泉八雲だからです。小泉八雲の怪談から使えそうなものを探しました。おかげで梅の木といういいアクセントが出来ました。

…でも阿求のこの花飾りって絶対こんなでかいかんざしじゃないよね（セルフ突っ込み

そして今回はなんと！CDを作ってしまったよ奥様！

一度はやってみたいと思ってはいたんですが、ふと思いつきでこんなことになりました。読みづらかったらごめんなさい。ほんとにただやりたかっただけなんです…。

まあ出来は推して知るべし、もっと素敵なものは本業の方々に任せるとしましょう（駄

でもCDに「TGCD-0000」なんて銘打っちゃったからには、せめて0001くらい出したいなあとは思っただけでもね、普通にCDパケで。まあ、出来はこんなものだけ。今回サ○ホラみたくストーリーCDっぽくしてみたならんだかとても楽しかったので、またやりたいなあ。誰か、ぼく絵描くからストーリーCDみたいな作りませんか（こんなとこで何言ってんだ

では最後に謝辞。相変わらず蒼井拓、科の両者にはいろいろとお世話になりました。物書きの人はやっぱり賢いです。俺の頭では到底成し得ないことを意図も簡単にホイホイやりやがる。出来れば今後も末永くよろしく。一人で全部やるには限界あるからね。あとはやくバンド組もうぜ（私信
そして今回もなつが頑張ってお手伝いしてくれました。ほんと助かります頭あがらん。

こんな長ったらしいあとがき誰が読むんだって感じだけど、ファンタジーのキャラ解説よりははるかにマシな気がした。うん、まあそんなことはどうでもよくて、まだもうちょっと頭に東方ネタがあるので、とりあえずそれをやりきりたいなあ。ファンタジーは抜きで。

それでは、読んでくれた人、どうもありがとうございました。今後も適度に頑張ります。



2008.12.29 結城えいし

ただ猫は泡沫を廻る CD

1. 憂いし永遠の物語
原曲：ジャパニーズサーガ
2. ただ猫は泡沫を廻る
原曲：阿礼の子供
3. 夜の瓢零嘯くように
ひょうれいつつめ
原曲：夜の鳩山を飛ぶ
4. ただ猫は泡沫を廻る -leadless Ver.-



■Arrange & Guiter
結城えいし

■Lyrics
蒼井拓

■Special Thanks
科

1. 憂いし永遠の物語

廃れた日本みたいな出だしから、そして原曲崩壊へ。ミドルテンポのヘヴィメタルを目指して玉砕した感じ（駄
どうやらぼくは転調が苦手な様子。勉強あるのみ。あとソロ適当すぎですごめんなさいごめんなさい…。ストラト
も1本くらい欲しいなあ、というか引越しに乗じて実家に置いてきたのが悔やまれる…

アウトロに有名フレーズ入れて、東方っぽさを出してみた！（悪足掻き

2. ただ猫は泡沫を廻る

一応、メイン曲。エモっぽく…？とりあえず愛人蒼井拓にプロットを見せつつ、作詞をしてもらったのにヴォーカ
ルがないという残念なことに！

実は「仕方がない、俺が歌おう！」と思いつき、MyPC内にはぼくのヴォーカルバージョンがあったりしますが、
「すごく下手だ、才能がねえ！」と天からどっかの卑猥な名前の奴みたいな声が聞こえてお蔵入りです。おもしろうて
やがてダメージというか痛くて即座にセルフダメージなこと請け合いです（駄

一応紫もメイン張ってるので、「夜が降りてくる」からワンフレーズ拝借。

そして何故かオマケでカラオケ収録。僕の代わりに歌うがいいさ！最初は「まーどろむよにー」です（えー

3. 夜の瓢零嘯くように

明るいメロスピ！一番原曲に近い気がするけど短い！ひたすら短いよ！もっと頑張れよ俺！

…特に書くことないなあ（駄

1. 憂いし永遠の物語

吹き荒ぶ風の中をゆく一人の少女がいた。
少女は永遠だった。瞬きの度に消えゆく命を見てきた永遠の少女。

その傍らに、今、ひとつ。
永遠と呼ばれて然に非ず、脆く儚き紛いもの。
興を惹かれてひらひらと、静かに少女は微笑んだ。

——永遠の少女は語る。泡沫と消え続けた少女の物語を。



2. ただ猫は泡沫を廻る

永遠と呼ばれる少女がいた。仮初の永遠、泡沫の命の連鎖。
だが彼女——永遠の少女は現れた。

まどろむように ただひとり
かぎろう 世に 身を委ね

移り行く日々
また繰り返す
「ひとり、生きよう」
——永久に停く

廻る歴史 　　ただ綴る
課せらる使命 　　身に抱き

「顕世は夢、
胡蝶の夢」と
日は沈み往く
永き眠り——

刹那に生きて言葉を交わしても
七度八度続く夢幻
積み重ねられた記憶を繋いで
ただ猫は泡沫を廻り廻る

永き世を生きる白き猫は
忘れない、瞬きの命を——

刹那の命でも二人語ろう
たった一度さりの想い出刻もう
積み重ねられた記憶を繋いで
ただ猫は泡沫を廻り廻る



3. 夜の瓢零囁くように

二人は進んでいく。
見えない未来へ。

闇の中、その姿が見えなくても走り続ける。
闇の中、握る手の温もりが泡となって零れ落ちる。
闇の中、耳に届く鼓動が木霊となって遠ざかる。
闇の中、漂う吐息が陽炎となって消えてゆく。
闇の中、切り裂くように走り続ける。

たとえ闇が聳いても、恐れるものは何もない。
そこにあるのはひとつの——

約束。



ただ猫は泡沫を廻る

■奥付■

発行日 2008.12.29

発行元 月夜幻想

作者 結城えいし

サイト Luna Phase

<http://homepage3.nifty.com/lunaphase/>

連絡先 jue_0307@nifty.com

印刷所 PICO 様

原作 上海アリス玄楽団

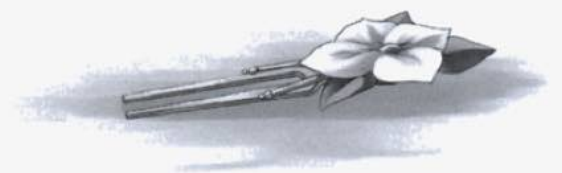
本、CD 共に無断転載、二次配布を禁じます。

■参考■

100万回生きたねこ / 佐野洋子

破られた約束 / 小泉八雲

夢十夜 / 夏目漱石





Tsukiyo
Gensou

TOUHO Project Fan Book

2008.12.29

Presented by Tsukiyo Gensou

